

校内研修活性化 事例紹介

—ICTを活用して効率的・効果的に—

岡山県立 岡山芳泉高等学校

効率的・効果的に授業を観合い語り合う風土の醸成が進む取組を取材しました

授業参観にはいつでも端末持参で！



教頭先生が
撮影している
ところです！

岡山芳泉高 小野指導教諭へ インタビュー

「先生方への『授業改善アンケート』はGoogleフォームで行い、以前より効率的にフィードバックが来ています。自身の授業力向上につながったことやICT活用の実践例などを振り返ってもらい、学校全体での共有を図っています。また、以前は時間のかかっていた校内研修等も、個々で学べるところはICTを効果的に使っており、主体的に学ぶ風土が定着しています。」

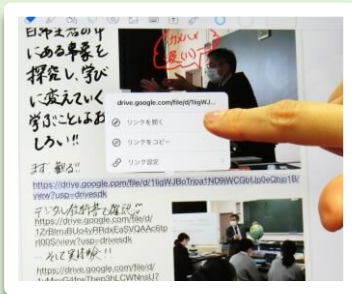


活性化ポイント①

「授業の様子をドライブ保存」



Marumie通信



Marumie通信に貼られた
リンクをクリックの様子

藤田教頭が作る『Marumie通信』は日々の授業の様子を載せており、令和4年度は年30号発行しました。作成にはGoodNotesを利用し、生徒の様子や教師の工夫を写真や動画で載せ、手書きのコメントもつけています。動画等はドライブに保存されており、スキマ時間にリンクをクリックするだけで手軽に授業の様子を観ることができ、お互いの授業力向上に良い刺激となっています。

いつでもどこでも、授業研究ができます

活性化ポイント②

「個人の学びを共有する研修」



OJT研修の様子

少ない時間でも、効率的・効果的に学べます

新しいことにチャレンジする姿勢はまずは職員室から見られます。「それ、どんな感じ?」「ここが使いにくい」などと気軽に話しかける雰囲気、学びの輪を広げています。

OJT研修は、年間約10回、様々なテーマで行われています。例えば、班ごとに興味・関心のある動画を主体的に選び、事前に個人で視聴します。対面では、個人の学びを共有するための協議の時間をしっかりと確保し、充実した研修となるよう工夫しています。



職員室の様子

「個々の先生方が持っているアイデア（授業の工夫）を手軽に共有できるようにちりばめておくことが大切」と言われたことが印象的でした。教師の主体性を引き出す工夫が、授業を探究する学校風土の醸成へつながっていました。



リーフレット
「授業を探究する学校」の
ダウンロードはこちら

